

70 NEWS

life with sTone
～ 石の温もりを、暮らしの中に～

皆さんこんにちは！新しい元号の令和元年が終わろうとしております。今となつては新しい元号の方が馴染まれて、逆に旧元号(平成)の方が違和感を覚えるようにもなりました。今年はどうな一年だったでしょうか？毎年この時期になると一年を振り返りますが、環境の変化は想像以上に早くなっていると感じます。来年はどんな年になりますでしょうか楽しみです。

TOPIC 1

検証シリーズ



へえ～、そうだったの？

表面傷のリペア(補修)

大理石、御影石、人工大理石、クォーツなどの表面には様々な傷がつきます。傷の大きさや程度により、交換や再研磨、またはリペア(補修)されます。しかし擦り傷(いわゆる爪が引っ掛かる程度のクラックではない)程度のリペアが結構厄介です。補修剤では充填が難しく、研磨では時間がかかりすぎる。この現象に対して有効な手段がないか今回、当社の新しい商品で検証してみました。

今回用意した素材は今、欧州を中心に世界的に市場が広まっている「クォーツストーン」「セラミックタイル」といった新素材と天然石の「黒御影石」に発生した擦り傷に対して、AKEMI社製品を使用し4パターン検証をしました。



①アケポリッシュ

(液体研磨剤と研磨用パフのセット品)にて対応



②トランスフォーマー

(光沢復元塗布剤)にて対応



③ダークナースーパー

(黒系向け 光沢復元塗布剤)にて対応



④スパイダーブラック

(黒石ピリ傷塗布剤)にて対応

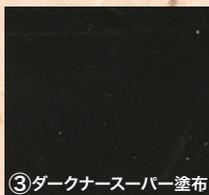
- クォーツストーン(黒系)においては①のアケポリッシュでも十分に対応できていることが分かります。②のトランスフォーマーは塗布することで光沢が発生し素材自体も仕上がりが良くなります。③のダークナースーパーでも同様に対応しておりますが、やや黒味が深くなることで表装が若干変化しております。④のスパイダーブラックは黒くなりすぎた感が拭えませんでした。



①アケポリッシュで研磨



②トランスフォーマー塗布

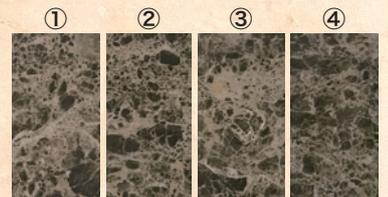


③ダークナースーパー塗布



④スパイダーブラック塗布

- セラミックタイル(茶系柄)に関しては傷隠しにはどれも今一つでした。①のアケポリッシュで若干傷が薄くなった程度ですが、他の②③④に関しては傷をそのまま残す形でしか変化しておりません。



- 黒御影石に関しても同様に①アケポリッシュでも対応出来ておりますが、研磨し過ぎなのか若干ツヤぼけも見られます。②③④それぞれの塗布剤に関しては光沢復元でもありますので、傷自体は隠してしまえますが全面塗布は必要です。



総評



以上のことから、擦り傷に手軽で一番対応できたのはアケポリッシュです。ピンポイントでの研磨作業ができますし、何より手軽であることがお勧めです。他の塗布系薬品でも十分に対応できておりますが、表装が若干変わることから一部だけではなく全面塗布が基本のため、作業も少し大変かと思われます。

擦り傷の補修に関しては、工場だけでなく現場などでも手軽に対応できる「アケポリッシュ」がおすすめです。

トランスフォーマー、ダークナースーパーに関しては、当社のホームページで、本来の使用方法についての動画がありますので、ご覧ください。

また、まもなくアケミ社商品専用のホームページ akemi-japan.com が開設されます。アケミ社のすべての商品を紹介しておりますので、ご期待ください。

TOPIC 2 今月の新商品

浸透性保護剤

ダークナースーパー

AKEMI Darkener Super

石の表面の穴から原液が浸透し石の中で防水層を形成することで吸水や汚染を長期間にわたり保護いたします。

また無臭のため屋内での使用は勿論の事、FoodSafe(EU承認による対食品への安全性)の認定を受けておりますので、経年劣化による光沢を失ったお寿司屋さんの石材カウンターなど、食品を扱う場所での再生に最適な商品です。特に黒系の石材に対してはより深みのある光沢を還元致します。パブル期に建立された建物の床のメンテナンスにも最適な商品です。



塗布面

無塗布

TOPIC 3

Japan Home & Building Show 2019 出展報告



先月の11月13日～15日の3日間、東京国際展示場において展示会に出展してまいりました。今回で当社も3回目の出展となり、様々な業種の方とお話させて頂く機会を得ております。

東京オリンピックまで後1年を切った現在において、建築関連市場は非常に熱を帯びております。施工・加工・改修・メンテナンスにおいてどの分野も新しい動きを見せております。ここ最近の石からタイルへの動きは急速な展開となっており、サイズの大判化に伴い色々に対応した工法が出てきております。そのため弊社も以前よりご紹介しております不陸調整システム「MLT」が相変わらずの好反響でした。

また、新素材のキッチンカウンターが大手カウンターメーカーにより一気に市場への投入が増えてきています。このことから今後予想されるのは、メンテナンス市場の拡大です。

AKEMI社の製品ラインナップにもキッチンカウンターにおけるdailyメンテナンスのセット商品が販売されており、世界中で使用されています。欧州の大手メーカー(ネオリス・デクトン・ラミナム)などは、AKEMI社との共同開発で日々のメンテナンス商品販売しています。当社も今回、参考展示として天然石材用、クォーツ用、セラミック用、新素材セラミック用のデイリーメンテナンス商品を出展しました。

日本では、一般の中性洗剤などで洗浄されておられますが、今後は各素材に対応し、食品にも安全な洗浄剤を施主様自らが日常的にメンテナンスされるようになると思います。またパブル期に施工された天然石の物件やタイルなどの改修・補修も多く出てきております。そのため環境に優しい現場にて洗浄できる洗浄剤「ストーンマジックシリーズ」やAKEMI社の光沢還元塗布剤(今号TOPIC.2にて紹介)、傷・欠け・穴埋めなどにおいてのAKELUXなどの補修KITに対する興味・関心度は非常に高いものでした。

2020年もアメリカを皮切りに中国・日本において展示会に出展しておりますので、お時間がございましたら足をお運びください。会場にてお待ち申し上げます。

誌面の都合上、商品に関して細かく掲載できませんでしたが、詳細な内容に関しては藤栄ホームページ<https://touei.ne.jp>にて動画などをご覧ください。



TOPIC 4

最新中国石材事情



当社の中国の張代表より最新商品のレポートがありました。

写真ではわかりにくいですが、石ではなく最新のタイル商品です。G603、G663、G684、G654、浪花白を模倣した厚み12ミリのビシャンのタイルです。この技術の進化には驚きです。対候性・接着剤との相性などをテストして、また、皆様に報告をいたしますが、今後日本でも石からタイルへの移行は進むのではないかと思います。

次号vol.43は2/20頃のご案内となります。来月(1/20号)はWEB限定での増刊号となります。



藤栄株式会社

大阪本社 〒578-0944 大阪府東大阪市若江西新町4-5-25
東部営業所 〒327-0817 栃木県佐野市伊勢山町14-10

ウェブサイト
<http://touei.ne.jp>



フェイスブック
<https://www.facebook.com/touei.kenzai/>



商品についてのお問い合わせ・ご注文等は、お近くの石材工具販売店様までお問い合わせください。

TOUEI ドットニュースは、メールでいち早く配信しております。配信をご希望の場合は、web@touei.ne.jpへ、メールの本文欄に会社名・お名前をご入力の上、送信ください。(右側のQRコードで、上記のメールが開きます)

